

2020年1月24日
株式会社カイカ

BCCCの「ステーブルコイン部会」に発起企業として参加 ～日本発のグローバル・ステーブルコイン発行実現に向けて～

当社は、一般社団法人ブロックチェーン推進協会（以下、「BCCC」といいます。）が新たに設立した「ステーブルコイン^{※1}部会」に発起企業として参加いたします。

Facebookによる「Libra」や中国政府による「デジタル元」などの発表を背景に、企業やアンバンク^{※2}の決済用途における暗号資産として「ステーブルコイン」への注目度が高まっています。

BCCCは、3年前に実施した社会実験「Zen 第1フェーズ」で得た知見を活かしながら日本国内および世界で流通することのできるステーブルコインについての研究・検証を行い、日本発のグローバル・ステーブルコイン発行の実現に寄与することを目的として、ステーブルコイン部会を2月に発足させた上で、半年間を目処に日本円および世界の主要通貨に対してステーブルとなる仕組みを策定し、その後、実装期間を経て最大30社での企業間決済実験を実施する計画です。

当社は50年にわたり、数多くの金融機関のシステム開発を手掛けた実績と暗号資産の知見を存分に発揮し、「ステーブルコイン部会」の参加企業の皆様と協力して、日本発のグローバル・ステーブルコインの実装を目指してまいります。

※1：価格が安定した暗号資産（仮想通貨）

※2：銀行口座を持たない人

BCCCの報道発表資料は[こちら](#)

■「一般社団法人ブロックチェーン推進協会（BCCC）」とは

ブロックチェーン技術はフィンテック（金融 IT 革命）の中核技術として注目を集めるだけでなく、業界を問わず情報システムの進化に大きな貢献をもたらそうとしています。しかしながら、現在国内のブロックチェーン技術開発と実証実験は世界に対して遅れを取っていないにもかかわらず、その実績や技術情報が共有されていないため適用領域がほんの一部に留まっています。そこで、本会は、ブロックチェーン技術の未来を確信する国内有志メンバーが、相互に情報交換、切磋琢磨しながら、ブロックチェーンの普及啓発を行い、自らブロックチェーンの適用領域を拡大し、またブロックチェーン技術領域への資金調達支援を行うことによって、わが国産業界の国際競争力増進に貢献するとともに、ブロックチェーン技術の進化にも寄与することを目的とします。さらに、世界のブロックチェーン団体とも連携しその情報を国内で配信するほか、本会で培われた技術と経験は、ブロックチェーン先進国として日本から世界へと向けて発信します。

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社カイカ
TEL 03-5657-3000